

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

第37389号（日刊）2008年（平成20年）7月6日（日曜日）



瓶のごみ減量化・リサイクル推進
キャラクター「リーフインクル」

うつくしまを未来に



瓶の地球環境保全
キャラクター「エコたん」

環境考える産業を育成

循環型社会の実現を目指す県は、2006（平成18）年に導入した産業廃棄物税を活用し、産業廃棄物の排出抑制や再利用などに取り組み事業所を支援。新たな技術開発や施設整備費用の一部を補助し、地球にやさしい県内産業を育てている。

新たな技術開発に補助金

廃自動車の100%リサイクルに取り組み須賀川市の大越工業は、県の補助制度を活用し、自動車用フロントガラスの再資源化技術を確立した。

フロントガラスは、破損



2通りの方法で回収した
それぞれ純度の高い樹脂

大越工業 自動車ガラスを再資源化

時のガラス破片の飛散を防ぐため、粘着性と透明性に優れたポリビニルブチラール樹脂製のフィルムが挟み込まれている。しかし、その樹脂からガラスを完全に

廃棄物の排出抑制にも補助金

産業廃棄物の排出抑制や減量化、リサイクル推進に向けた施設整備への補助では、これまで汚泥の減量や再利用（汚泥脱水装置）、廃プラスチックのサーマルリサイクル（RPF製造設備）、動植物性残さ（餡粕）の再利用（グラインダー）、

取得除くのは困難なため、リサイクルの幅が限られていた。

同社は溶剤を用いるなど二通りの技術を開発し、純度99・99%の樹脂回収に成功。樹脂とガラスの再利用を可能にした。今後、量産型回収装置の設計などを進め、普及を進める計画だ。

同社は、技術開発に関する県の補助制度（上限1千万円）を利用した。

●県庁産業創出課

脱水装置）などに支援を行っている。

補助限度額、補助率は汚泥に関するものが上限200万円（対象経費の3分の2以内）、そのほかは1500万円（同2分の1以内）。応募は8月20日まで。

●県庁産業廃棄物課